

1. 活動内容と養成

《情報教育アドバイザーの活動内容》

1. 教員研修

学校単位の研修会は、学校側の希望内容を研修し、先生のスキルアップのための研修を行いました。内容は、パソコンの初歩から様々なアプリケーションの研修、ホームページ作成、またデジタルコンテンツを使った授業の紹介などの研修会を実施しました。そして、先生に対しての技術支援だけでなく、実際に授業を行う時、子供にどのように指導すればいいかという点にも着目して研修を行いました。

＜研修会の例＞

■機器の使い方

新規導入された機器・プロジェクターの操作・校内 LAN の活用研修

■パソコンの初歩

Windows の基本操作・ファイル管理・キーボードの操作と文字入力

■アプリケーションの基本操作

Microsoft Office・一太郎・一太郎スマイル・はっぴょう名人等

■インターネットの基礎

マナー・セキュリティ・検索の仕方・電子メールの使い方

■画像処理

デジタルカメラで撮影した画像やスキャナからの画像の取り込みと、加工について

■ホームページ作成

ホームページの作成の基本

■デジタルコンテンツの紹介

デジタルコンテンツの紹介から、教室で使う場合や、コンピュータ室での活用、先生・生徒の活用法について

2. 授業支援

情報教育アドバイザーが授業に入り、Team Teaching の一員として、授業支援を行いました。

授業支援をする際は、授業の中で、先生と情報教育アドバイザーが連携を図り、場合によっては、情報教育アドバイザーが教壇に立ち、指導することもありました。そうすることで、先生自身が子供たちとともに学んで、自信をつけていくことにもなりました。

3. 授業支援を行うための事前打ち合わせ

授業支援を行う前に事前に打ち合わせを行うことによって、先生と情報教育アドバイザーの役割を明確にし、授業の計画をたてていきました。

打ち合わせを行いながら授業で必要な操作を情報教育アドバイザーが説明を行い、操作も習得できるように支援しました。この打ち合わせを行うことにより、先生自身も授業の流れが把握でき、情報教育アドバイザーと連携が図れるようになります。

4. 教科での取り組みのアドバイス

以前は、コンピュータの操作やアプリケーションの操作の説明をすることが多かったですが、近年「教科での活用」を推進し、教科の中でどのようにコンピュータを活用できるかアドバイスをしています。

5. ホームページ更新支援

既にホームページを公開している学校は、更新作業をする必要があるため、定期的に情報教育アドバイザーと一緒に更新作業を行う研修会を実施しています。各学年やグループごとにアドバイスをを行うことによって、一部の先生だけが作成するのではなく、学校全体で取り組むことができるようになっています。

6. 合同研修会

合同研修会の内容を教育委員会と検討し、テーマ別・レベル別に合同研修会を実施しています。

《情報教育アドバイザーの養成》

以上のような活動を行うために、当協議会では情報教育アドバイザーに対して以下のような教育を行ってきました。

1. 情報教育アドバイザー研修会の実施

学校の状況を確認し、それぞれの情報教育アドバイザーのスキルアップ、アドバイス内容の統一を図るため機器やソフトの使い方だけでなく、教科での活用方法についての教育を行いました。

2. ミーティングの実施

ミーティングでは情報教育アドバイザーの役割を理解することによって、情報教育アドバイザーがどのように学校現場で行動しなければならないかを検討し教育を行いました。学校にはたいてい1名で行動しますが、先進的教育情報環境整備推進協議会の一員であると同時に情報教育アドバイザーはチームで動いているという意識を持って行動するように教育を行いました。

ミーティングは定期的に行い、コンピュータのスキルだけではなく情報教育アドバイザーの問題点と今後の課題を話し合い、情報教育アドバイザー自身の問題点を改善するように努めました。

3. 報告書での情報交換

情報教育アドバイザーの作業内容は、日報の形式で毎回報告させ、情報教育アドバイザー同士が学校の状況・次の授業・研修の引継ぎができるようにし、管理及び作業指示を行いました。